

服飾手芸シラバス

教科	科目名	単位数	学年	学級
家庭科	服飾手芸	2	3	1～4

1 学習目標

学習の到達目標	手芸の種類、特徴及び変遷、各種手芸の技法などに関する知識と技術を習得させ、手芸品を創造的に制作し、服飾に活用する能力と態度を育てる。		
使用教科書・副読本等	被服製作 実教出版	学習形態	文系の選択者

2 学習計画

<評価の観点> 1 関心・意欲・態度 2 話す・聞く能力 3 書く能力 4 読む能力 5 知識・理解

学期	月	学習項目	学習内容	評価の観点 評価規準	備考	考查 範囲
1 学期	4	リエンテーション 身体の採寸	・被服製作の授業の目標等を理解し、実習計画を立てる。 ・身体の採寸箇所の名称を理解し、正しく採寸する。	1、2、3、 4		
	5	①実習：基礎縫い ②実習：クロスステッチ ③実習：刺し子 ④実習：染め物	・基礎的な布の扱い方、しるしつけを理解する。	1、4、5		
	6		・手縫いの基礎やボタンつけ、縫い代の始末を習得する。			
	7		・手芸の変遷を理解し、手芸の技法を身につける。			
評価	基礎縫い、クロスステッチ、刺し子、基礎テスト					
2 学期	9	⑤郷土の織物 (知花花織り)	・郷土の織物について、理解する。	1、4、5		
	10	⑥実習：自由課題1	・手芸の技法を洋服、和服、小物に取り入れ、オリジナル作品を制作する (ワンピース、シャツ、鞆、帽子、小物など)			
	11					
	12					
評価	知花花織り、染色、自由課題					
3 学期	1	⑦実習：ひもを使った小物 ⑧実習：つまみ細工	・手芸の変遷を理解し、手芸の技法を身につける。	1、4、5		
	2					
<p>【年間の評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・制作物・・・基礎縫い、作品制作を評価する。授業・・・実習態度、出席状況を評価する。 ・基礎テストを実施する 						
<p>学習アドバイス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習中は、騒いだりせず安全面に充分注意すること。 ・作品は、普段の生活で必ず使用できるものを制作すること 						